

1 小学生記者がナガサキを記事にする



- ① 前田 真里/著
- ② くもん出版
- ③ 1300 円
- ④ 31 マ 025

全国から集まった小学生と保護者が、「ナガサキ」や自分が住む地域の太平洋戦争について取材し、おやこ記者新聞「ナガサキ・ピース・タイムズ」を製作する活動の様子がまとめられています。小学生記者5人の活動とその後の取組を追いながら、平和について考えることのできる一冊です。

2 リュウグウの砂に挑む



- ① 伊藤 元雄/著
さらちよみ/絵
- ② くもん出版
- ③ 1600 円
- ④ 44 イ 025

小惑星リュウグウから届いた「お宝」に、科学者たちはどのように挑んだのでしょうか。未知の物質を前に、失敗の許されない極限状態で繰り広げられる分析の舞台裏が描かれています。壮大な謎を解き明かそうとする執念と科学の進歩に胸が躍ります。宇宙好き、科学好きにおすすめです。

3 わたしたちの地球と気候変動



- ① 森田 香菜子/監修
ミヤタ ジロウ/絵
デュフォ恭子/絵
- ② 偕成社
- ③ 4500 円
- ④ 45 ミ 024

気候変動のメカニズムや異常気象がもたらす未来、そして具体的な解決策までを分かりやすく描いた作品です。複雑な環境問題をイラストで分かりやすく説明し、「自分たちに何ができるか」を前向きに考えさせてくれます。今を生きる人々へ向けた「未来へのガイドブック」です。

4 見えない壁だって、越えられる。



- ① 高橋 うらら/文
- ② 金の星社
- ③ 1500 円
- ④ 78 タ 024

28歳で進行性の目の難病を患い、視力を失いながらも、なおトッパークライマーとして活躍し続ける小林幸一郎さんを追ったドキュメンタリーです。「見えない壁だって、越えられる」を合言葉に、障害者クライミングの普及に力を注ぐ小林さんの姿から、挑戦する喜びがまっすぐに伝わってきます。

5 チカクサク



- ① 今井 恭子/作
いとう あつき/画
- ② くもん出版
- ③ 1500 円
- ④ 91 イ 024

戦争の傷跡が残る昭和の時代が物語の舞台です。心に大きな傷を抱える主人公は、いつも陽気な叔父の心の中にもまもらない悲しみがあると知り、「自分だけが不幸だ」と思っていた世界から一歩踏み出します。今、何かに悩んでいたり、孤独を感じたりしている人に寄り添ってくれるはずです。

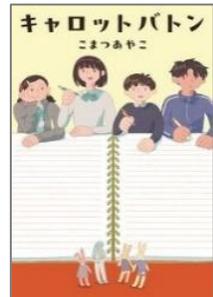
6 きさらぎさんちは今日もお天気



- ① 古都 こいと/作
酒井 以/絵
- ② Gakken
- ③ 1500 円
- ④ 91 コ 024

主人公の青葉は、鍼灸師である父を手伝い
う中で、お灸やツボの不思議な力に触れてい
きます。体の不調だけでなく、「心の悩み」
までも、お灸のじんわりとした熱が癒してい
く様子に、読み終わったあとは、「明日はい
い天気になりそうだな」と前向きな気持ちに
なれる一冊です。

7 キャロットバトン



- ① こまつ あやこ/著
- ② 毎日新聞出版
- ③ 1500 円
- ④ 91 コ 025

主人公の友真は、リレー選手になれなかつ
た悔しさから、バトンをペンに持ち替えて
「童話リレー」を始めます。超個性派の4人
がリレーする物語は、バラバラな個性を衝突
させながらそれぞれの個性に向き合い、ゴール
へと向かいます。思い通りにいかない日々
に悩む人に読んでほしい作品です。

8 オーサム!国語塾



- ① 清水 晴木/作
いつか/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1400 円
- ④ 91 シ 025

「オーサム国語塾」はめずらしい国語専門
の塾です。塾長の今井先生は「国語の勉強を
することで、日常の中での思考力を鍛えるこ
ともなる」と語ります。悩みを抱える小学
6年生の主人公たちは、国語塾で学ぶことで
それぞれの気づきを得ていきます。「勉強」
へのイメージを新しくしてくれる物語です。

9 朝読みのライスおばさん



- ① 長江 優子/作
みずうち さとみ/絵
- ② 理論社
- ③ 1400 円
- ④ 91 ナ 024

5年2組の朝読みの時間、突然やってきた謎
のおばさんがラップ調で紙芝居を読み始めま
した。奇抜な格好で踊りながら読み聞かせを
する“ライスおばさん”に新聞部員たちが「何者
だ?」と取材を始めます。「本を読む」とはどう
いうことなのか。「読み聞かせ」と「自主読書」
について新たな気づきをくれるはずです。

10 まほろ公園で、ふりむけば



- ① 藤重 ヒカル/著
小日向 まるこ/絵
- ② 偕成社
- ③ 1400 円
- ④ 91 フ 025

見慣れた公園が不思議な世界の入り口だっ
たら……。草のお面をかぶった謎の人物や小
さな翼を持つペガサスなど、ありふれた日常
の裏側に、実はこっそり隠れている不思議な
出会いを描いたファンタジー短編集です。読
み終えた後に、じんわりと心が温まるような
ひとときを届けてくれます。

11 ラント!



- ① クレイグ・シルビー/作
田中 奈津子/訳
- ② 静山社
- ③ 1850 円
- ④ 93 シ 025

オーストラリアに暮らすアニーは、強欲な地主のせいでピンチに陥った家族を救うため、元野良犬のラントとドッグショーの世界大会で優勝を目指します。次々に降りかかる困難を乗り越え、「負け犬なんて言わせない!」と快進撃するラントとアニーの姿に、元気がもらえる作品です。

12 ダンス★フレンド



- ① カミラ・チェスター/作
櫛田 理絵/訳
早川 世詩男/絵
- ② 小峰書店
- ③ 1700 円
- ④ 93 チ 024

11歳のレオは場面かんもく症のため、家族としか会話ができません。いつもひとりぼっちでしたが、隣の家に移ってきたリカとダンスを通じて、次第に友情を深めていきます。自分の「欠点」と思っていたものが、自分を形作る「個性」の一部であることに気付いていく姿に勇気をもらえる一冊です。

13 ぼくとロボ型フレンド



- ① サイモン・パッカム/著
千葉 茂樹/訳
- ② あすなる書房
- ③ 1800 円
- ④ 93 ハ 024

小学6年生のジョシュは、転校先での新しい生活に強い不安を抱え、失敗しないように過ごします。慎重すぎる彼が出会ったのは、少し壊れたお掃除ロボットのエリックでした。周囲の「大丈夫」に傷つくジョシュに、エリックは独自の論理で寄り添います。凸凹な二人が絆を深める感動の物語です。

14 サヨナラは言わない



- ① アントニオ・カルモナ/作
加藤 かおり/訳
- ② 小学館
- ③ 1600 円
- ④ 95 カ 025

日本とフランスにルーツを持つ12歳のエリーズは、4年前にママが死んでから、パパがママにまつわるすべてを封印したことで、心を閉ざしてしまいます。寂しさを抱えて過ごす親子の元へ、日本から祖母が訪ねてきます。悲しみの乗り越え方を教えてくれる心温まる一作です。

15 それからぼくはひとりで歩く



- ① アリシア・モリーナ/作
星野 由美/訳
犬吠 徒歩/絵
- ② ほるぷ出版
- ③ 1450 円
- ④ 96 モ 025

メキシコの特別支援学校から地域の小学校に転入したばかりの小学校5年生のハイメは、目が見えないため不便なことも多い毎日を工夫しながら楽しんで生活しています。そんなハイメの朝から夜までの生活と、少し特別な冒険の一日の物語です。自立することの厳しさと楽しさを教えてくれます。